

社会福祉法人翔洋会 令和6年度事業報告書

令和6年度は社会福祉法人翔洋会にとって依然として感染症の影響が大きかった1年となりました。特に年度後半に施設により規模が大きくなったり長期間であったりと職員が対応に追われ、事業所の休止や入所等に影響がありました。

職員や家族が感染した際に人員的に厳しい体制が繰り返されましたが、各施設共に職員が全体で助け合い乗り切る事ができました。

また、年度末には岡山市南部山林火災により宮浦荘近隣が広範囲にわたり影響を受け、宮浦荘入居者様も法人内他施設へ避難を行いました。発生初日には宮浦荘の入居者様からも炎が見える状況で皆様恐怖を感じておられました。幸いに行政・老人福祉施設協議会・地域の皆様を始め、他の法人・施設様、その他多くの方々に支援及び励ましのお言葉を頂き、乗り切ることが出来ました。

現地にて消火活動にあたって頂いた消防署・消防団・警察の方々の対応にも感謝致します。職員一同大変心強く感じました。

令和6年度より義務付けられました事業継続計画（BCP）に山林火災災害という経験を元に実用的な内容に修正を行い備えていきます。

令和6年度を振り返り事業計画内の方針からみると、

○ 収入・支出に係る継続的な見直しによる経営基盤の強化

物価高騰の中で各施設共に全体的な消耗品等に関しては常に価格調査を行い、品質を確認しながら価格を抑えることに注力しています。

しかしながら長く開設している施設では、設備に関する修繕・買換えが多く努力以上に支出が伸びているのが現状となっています。

電気料金に関しては、多くの施設が令和6年度のプランの見直しを行い、計画通りにはいかない部分もありましたが、昨年度より削減できています。

灘崎荘は固定制、富山荘・藤田荘・玉野山田荘は使用料が多くなる夏と冬を固定制で、少なくなる春と秋を市場連動制で行うハイブリッドプラン、宮浦荘は年間を通して市場連動型価格プランを採用し、デマンドコントロールも併用しています。

また、藤田荘・玉野山田荘に関しては太陽光パネルを設置しており、施設の経費削減に一役買っています。

空床期間を短縮するための待機者確保に関して、引き続き居宅介護支援事業所・病院等を訪問し営業活動に取り組んでおります。各拠点の生活相談員は、施設の空き情報等を共有し、営業の際には自施設だけではなく法人全体をアピールする様に努めています。令和6年度からは、

老施協のウェブサイトからも特養入所の申し込みが行える様になりましたので、営業や地域交流の際に紹介を行っています。

本年度も令和5年度同様に、感染症が発生した関係で事業を休止もしくは受け入れ制限せざるを得ない状況となり、空床・定員を埋めることに時間がかかってしまった事が大きく、それが介護保険事業収入に影響しております。

○ 人材確保及び定着

令和6年度はハローワーク主催の就職説明会に3回ほど参加していますが、ここ数年同様に来場する求職者の減少が著しく目立ちます。数少ない来場者の中で翔洋会に興味を持ってもらうためにはウェブサイトやSNSを利用した情報発信が必要不可欠となるため、灘崎荘・富山荘・藤田荘・玉野山田荘ではウェブサイトを活用しています。情報発信の窓口を増やすように法人インスタグラムでの発信も続けており、見てくれる方々も増えています。SNS発信は主に求職者に向けて翔洋会の施設を知ってもらうためのツールであり、今後も職員の研修や入居者様とのイベント等を公開していきます。

職員の確保が困難になっている状況の中で、辞めない職場づくりが重要となる訳ですが、引き続き、ハラスメントを防ぐ体制づくりに力を入れています。

7月と8月に法人監事の山本豊郎社会保険労務士に講師として施設の相談窓口担当者及び現場指導者を対象としたパワーハラスメントに関する研修をして頂きました。

1回目では、「パワーハラスメントを起こさないために！」と題して、定義等の確認や事例検討を行い、2回目ではハラスメントの加害者にならないために注意すべき事を教えて頂きました。

翔洋会では、ハラスメント相談窓口を施設とは別に法人にも設けることで法人内のあらゆる相談ケースに対応できるようにしています。

入職した新卒採用及び中途採用の職員さんに向けてのフォローアップの点でも各種専門部会のメンバーを中心として入職時の研修を施設ごとだけではなく合同で行うこともあります。また各施設共に適宜面談を行い、入職者の不安要素を取り除き定着を促しています。

実際の職員採用では、各施設ともに紹介会社経由での採用が多くを占めており、それに伴い採用にかかる手数料も増加しています。

また、令和6年度末時点で翔洋会には2名の外国人労働者(中国籍2名)が所属しています。

○ 適正なBCP（事業継続計画）の法人全体への周知と研修・訓練の計画及び実施

令和6年4月よりBCP（事業継続計画）が義務化となり、各施設ともに管理者及びBCP推進委員会メンバーが中心となり、BCPの整備を行いました。

また、令和6年3月23日には岡山市南部山林火災が起こり、宮浦荘が避難を行う事となりました。それまでのBCPでは山林火災を想定しておらず、これを教訓として整備すべく取り組みました。

今後も実際に訓練・研修を行いながら、その都度問題点を挙げていきより実践的な計画に近づけるように取り組みます。

企業主導型保育事業所ジョウ・キンダーガーデンは園児数が年間通して定員 19 人を継続することができ、施設として安定的な経営状態を維持すべく機能し始めた 1 年となりましたが、令和 6 年度は退職者も出ており、加算の算定に必要な体制作りが求められています。

地域貢献の面からみると富山・宮浦地区で福祉有償運送、藤田大曲地区及び宮浦地区にて買い物支援を行っています、こちらも良い評価を頂いています。その他にも認知症カフェに参加して介護相談を行ったり、自施設でカフェを開催して地域の方をお招きしたり、学生の実習受け入れを行ったりと各拠点にて地域とのかかわりに重きを置いています

宮浦荘近隣の「ささえあいサロン宮ノ浦」も地域の方が毎週立ち寄られ「あつ晴れももたろう体操」で体を動かされた後に憩いの場として、時には施設職員による介護相談の場としてご利用頂いています。

令和 7 年度に関しましては、高齢者福祉事業 5 施設及び公益事業 1 施設を経営する法人全体の業務の効率化や機能の強化にも取り組みながら、さらに地域・社会への貢献を意識した活動に注力してまいります。

○令和 6 年度 法人全体の採用者・退職者の状況

採用者 49 名 退職者 51 名

○令和 6 年度 人件費率（【 】内は給食委託会社管理費を含む）

灘崎荘 69.3%【74.5%】（前年 66%【72%】） 富山荘 62.5%【67.2%】（前年 64%【69%】）
藤田荘 67.7%【72.6%】（前年 67%【72%】） 玉野山田荘 60.8%【65.8%】（前年 60%【65%】）
宮浦荘 67.0%【74.4%】（前年 68%【76%】） ジョウ・キンダーガーデン 76.9%（前年 80%）

法人本部の主な社外活動・研修等

4 月 18 日	岡山博愛会病院 なんでも勉強会「誤嚥性肺炎について」
4 月 22 日	富山学区オレンジカフェ青春
4 月 25 日	社会福祉協議会灘崎支部 参与会
6 月 5 日	社会福祉協議会灘崎支部 参与会
7 月 24 日	法人ハラスメント防止研修 1 回目 「パワーハラスメントを起こさないために！」 講師：法人監事山本豊郎 社会保険労務士（人事労務コンサルタント山本事務所所長）

7月29日	富山学区オレンジカフェ青春
8月7日	法人ハラスメント防止研修2回目 「ハラスメントの加害者にならないために！！」 講師：法人監事山本豊郎社会保険労務士（人事労務コンサルタント山本事務所所長）
8月8日	岡山博愛会病院 なんでも勉強会「熱中症予防と対策」
8月26日	富山学区オレンジカフェ青春 「これからでもできる・すぐにできる・だれにでもできる 認知症のリスクから遠ざかる方法は？」という題目にて富山公民館にて開催のオレンジカフェにて1時間の講演行う
9月10日	社会福祉協議会灘崎支部 民生委員・福祉委員合同研修会
9月23日	富山学区オレンジカフェ青春
10月15日	認知症サポートリーダー富山会
10月24日	岡山博愛会病院 なんでも勉強会「もっと知りたい糖尿病」
11月11日	認知症サポートリーダー富山会
11月12日	玉野ハローワーク 介護就職デイ
11月18日	ハローワーク 介護就職デイ
11月20日	ハローワーク おかやま就活フェス
12月17日	認知症サポートリーダー富山会
12月23日	富山学区オレンジカフェ青春
1月16日	社会福祉法人天神会 特別養護老人ホーム天神荘見学
1月20日	玉野山田荘 防災訓練参加
1月21日	認知症サポートリーダー富山会
1月27日	富山学区オレンジカフェ青春
2月18日	認知症キャラバンメイト養成研修
2月20日	岡山博愛会病院 なんでも勉強会「健康トラブルと予防術」
2月24日	富山学区オレンジカフェ青春
3月15日	岡山 GENKI 会研修（岡山の医療・介護・福祉事業者）
3月18日	認知症サポートリーダー富山会
3月28日	岡山博愛会病院 なんでも勉強会 事務局長講義

*なお、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成しておりません。

翔洋会各専門職会議よりの報告は次のようになります。

専門職会議名	令和6年度についての報告
介護職員部会	・年2回の外部講師による介護部会主催の研修を行う事が出来た。 中堅職員やリーダーが対象の研修だけではなく、多くの職員が参加出来る

	研修考えていきたい。 ・事前に議題や質問事項等をしっかりと決めておくことが出来ず、余分な時間がかかってしまったので改善の必要がある。 ・部会での情報共有や議論は各施設での業務にとって有益なため、勤務も多忙な中ではあるが、出来る限り実施できるように柔軟にスケジュールを組んでいきたい。
生活相談員部会	・部会において情報共有を行う事で苦情処理や事故対応、営業スキル向上に成果が出ていると感じています。 ・外部講師による研修では、法的根拠を交えながら各施設からの事例を元に苦情対応に関して参考になった。 ・短期入所の空き情報を全施設分共有して営業先に伝えるようにしている。 ・入所稼働率向上のため申込者のニーズを把握して法人内で相談員が協力しながら営業活動を行っていきたい。
看護職員部会	・感染状況の対応等で、当初予定していた回数で部会を開催することはできなかったが、看護職員同士で情報を共有し、他施設の方針・業務を理解していくことで自施設においても業務改善等の取り組みへの意識向上に繋がった。
介護支援専門員部会	・目標としていた各施設での介護支援専門員業務の均一化は施設ごとに違いが多く現時点では困難だと感じている。部会を今後も業務効率化を推進していく場としてうまく利用していきたい。 ・各介護支援専門員のスキルアップに関しては、実地指導等の情報共有をしっかりと行い自施設での改善に役立てた。介護支援専門員協会からの情報等を利用して新制度について学んだ。 また、LIFEの結果を確実にプランに反映していく必要がある。
機能訓練指導員部会	・部会で疑問点や問題点を相談することで、その情報を施設の職員に共有できた。 ・パーキンソン病の症例でその人によって動ける時間、薬の切れるタイミングで状態が変わる等、新しいことを知ることが出来て参考になった。 ・今年度は利用者の疾患に焦点を当てた話し合いが出来たと思う。それぞれ知識と認識が異なる中で情報を共有することで、新たな発見があり、それを各施設で生かせることができて良かった。

管理栄養士部会	① 目標達成できたこと ・日々の業務で疑問点・問題点をそのままにせず、他施設の管理栄養士と情報共有・相談し、解決することができた。 ・栄養マネジメント強化加算が未算定の拠点も算定開始を行った。 ・すでに栄養マネジメント強化加算を算定済みの拠点においては継続できた。 ・外出行事・イベントを可能な限り行い、入居者様にもご好評を頂いた。 ・食事会、手作りおやつ、カフェを通して利用者様に喜んでいただけた。 ・委託業者さん提案のご当地メニューが大変好評でよかった。事前にポスターを作り、各ユニットに張り出し、入居者様も楽しみにされていた。 ・出張料理はそれぞれのユニットにて3か月ごとに実施。こちらも好評だった。小鉢などをなくし、おかわりに重点を置いた。また、事前にユニット職員に行事計画書を作成してもらい、席の配置や担当などを決めてもらった。これまでは、事務所の職員がしていたが、今回から、ユニットの行事はユニットの職員が担当することになった。 ・経口維持計画を実施するにあたり、6か月に1度、頸部聴診を実施した。 ・再入所時の栄養連携加算を取ることができた。 ・他施設の行事などの見学も行い、自施設での参考とした。 ② 努力してみたが、いくつかの理由があり難しかったこと ・できれば栄養補助食品や高カロリー食、療養食等を提供したい方もおられるが、コスト等を含めた委託業者との連携の中でどう対処していくかを今後も引き続き検討していく必要がある。 ・新型コロナウイルスやインフルエンザの感染状況により、行事を中止せざるを得ない場合が複数あった。そのような状況の中で、夏祭り・花火大会・流しそうめん・芋煮パーティ・ドライブなどのイベントを実施できたことは良かったと思う。ひとつひとつはささやかな事ではあるが、いくつも積み重なることで、入居者様には大きなことになるのではないかと。喜怒哀楽の感情が大切だと感じています。 ・入居者様に合った食事形態の提供、体重の維持も目標にしている。体重の維持と食事形態はセットで考えた方がよい時がある。
通所介護事業所部会	・通所介護事業所の場合、人員配置などの関係で職場を離れることが困難なため、業務優先もあり FAX での意見交換・共有とした。 ・通所サービスは、施設入所までの通過期間なので、施設に空きができると通所利用者様が入所となり、稼働率を維持していくことの難しさを感じている。 競合施設も多く利用者様の確保は厳しいが、同じ立場の職員同士で共有し、

	それを踏まえた上で今後の対策を意見交換してそれぞれの職場の業務に活用していきたい。
--	---

（灘崎荘関係）

《特別養護老人ホーム灘崎荘》（平成 5 年 7 月 1 日開設）

ご利用者の平均介護度は 4.22（前年度 4.03）、平均年齢は 86.7 歳（前年度 86.4 歳）でした（ともに令和 7 年 3 月 31 日時点）。令和 6 年度中の入退所者は、入所者 21 名（前年度 17 名）、退所者 21 名（同 16 名）となりました。前年度に引き続き、手洗い・手指消毒の励行、マスク着用等、感染症予防・衛生管理対策と職員の体調管理を図ってきましたが、12 月 28 日から 1 月 6 日にかけて（利用者 44 名・職員 12 名）インフルエンザ感染者が発生、また同時期にコロナ感染者（利用者 1 名・職員 2 名）も発生しその間最大 13 床も空床となり年明けから空床を埋めるのに苦戦しました。年間を通じて病院への入院者も増加傾向にあり、年間を通しての平均利用状況（平均入所者数）は 76.3 名（前年度 76.7 名）、平均利用率 95.3%（前年度 96.3%）と昨年度を下回る結果になりました。

ここ数年新型コロナウイルス感染症の影響で大掛かりな行事がなかなか行えませんでした、感染対策を考慮した上でコロナ過以来 4 年振りに家族様を招待してのフェスティバルや敬老会の実施、また地域の小学校、スポーツ少年団等の多くのボランティアの方にも参加していただき、入所者様が少しでも楽しんでいただけるような行事を行いました。

また、職員の資質向上のため開催している施設内集合研修につきましては、①身体拘束・虐待予防、②感染対策・褥瘡予防、③事故防止と 3 種類の研修を各 2 回、年間計 6 回実施、消防・防災訓練、BCP（感染症・自然災害）の研修、訓練を各 2 回実施しました。外部研修の参加は昨年度より多くの職員が参加しました。チームリーダーや役職者が個別に集まって業務改善や職員間の意識や介護技術のレベル向上を図るための会議等を行い、職員に申し送りを行い利用者様が安心・安全に過ごせる質の高い介護サービスの提供を心がけるよう努めました。業務の効率化を目的に、ご利用者の日々の記録等の入力をタブレットで行う作業も 1 年経過し定着してきており、まだまだ改善の余地はありますが効率化に成功しました。

今後も様々な課題が山積みではありますが、それらの課題を適切に対処し、安定した経営を保ち、ご利用者本位のサービス、その実現のための職員が働きやすい職場環境の整備に今後もより一層努めていきたい。

《短期入所事業》（平成 5 年 7 月 1 日開設）

年間通しての利用率が 74.3%（前年度 80.5%）と前年度を下回り目標としていた利用率 75%には届きませんでした。年度当初から利用率 80%以上が続き好調ではありましたが、7 月に利用中の利用者様から新型コロナウイルス感染者が出まして、それに伴い利用を中止される利用者様が出たこと、10 月から 11 月にかけて毎週 6 日間ご利用されている利用者様が入院となり利用率が下がったこと、そして年末年始に特養で起きたインフルエンザのクラスターによる利用控えが特に一番利用率を下げた原因です。

短期入所施設への地域の需要は多様な形で増加しつつあり、介護する家族の息抜き・休息のための利用、家族の一時的な不在による利用など様々な需要がありました。多様化する利用者様や

家族様のニーズに応えるべく、地域における貴重な社会資源としての役割を担っていることを自覚しどのような場合でも対応できるよう、出来る限り利用者様の希望に応えるように努力しました。

引き続き各居宅支援事業所への空床案内のお知らせと市内に限定せず空床のお知らせを行い、サービスニーズに応えられるよう進めていき、引き続き地域から信頼される対応を心がけます。

《灘崎荘通所介護事業所》（平成 5 年 7 月 1 日開設）

1 日平均の利用者数 11.7 名（前年度 12.5 名）、新規利用者数は 15 名（前年度 8 名）と増加したが、利用中止利用者数が 13 名（前年度 5 名）と多く特に利用日数の多い利用者様が中止になり利用率の向上には繋がりませんでした。

前年度に引き続き、令和 6 年度も、新型コロナウイルスが終息することがない中で、感染症予防対策に取り組み、デイサービスを運営してきました。

ご利用者様やご家族様が発熱を含め体調不良等の症状が出ている場合は、他のご利用者などへの感染予防のため、デイサービスのご利用をご遠慮いただきました。また、朝の迎えで送迎車に乗り込み時と施設の玄関から入る時は非接触型体温計での検温、デイサービスフロアに入ってから看護師による腋下での検温含むバイタル測定を実施し、体調の変化を早期発見できるよう努めました。

新規利用者の獲得のため、営業先の見直しや認知症等の困難事例の受け入れを積極的に行っていました。

デイサービスへ来ていただいた利用者様へのレクリエーションに関しては、職員が考案、手作りした各種ゲームや脳トレを行い、毎月地域で犬を飼っておられる方にセラピー犬として施設に来ていただき、犬とふれあい利用者様と一緒に散歩を楽しまれていました。演芸等のボランティアの受け入れも行っており、以前のように大人数の受け入れは難しいかも知れませんが活気を取り戻していきたい。

年間を通して 4 名の高校生介護実習の受け入れ、中学校の職場体験 2 名の受入れを行っています。

《灘崎荘在宅介護支援センター（居宅介護支援事業）》（平成 12 年 4 月 1 日開設）

令和 6 年度は常勤職員 2 人、非常勤職員 1 人体制での業務を遂行しました。

利用者様が可能な限り、自宅において個人の有する能力に応じて、自立した生活を営むことができるように支援することを最重点として取り組みました。職員自身は積極的に研修に参加して、介護保険を取り巻く状況の変化をいち早くとらえ、学んだ内容を事業所内で共有するように努めました。

介護ケアプランが 728 件（前年度 792 件）と前年度より減少、予防ケアプランは 247 件（前年度 290 件）と前年度から減少しました。認定調査件数は 26 件と前年と変わらず対応できました。

当事業所は、同じ建物内にショートステイとデイサービスが併設されていることから事業所間の連携が取りやすいというメリットを生かして、利用者様の態様に合わせたサービスを提供していき利用者獲得に努めてまいります。

○ 特別養護老人ホーム灘崎荘

1. 特養利用者定員 80名 短期入所定員 10名

2. 利用者(入所者)の状況

(1) 利用者数及び延利用者日数

月	入 所 部 門		短 期 入 所 部 門	
	利用者数(名)	延利用者日数(日)	利用者数(名)	延利用者日数(日)
4	76	2,301	24	261
5	78	2,390	28	264
6	76	2,329	25	243
7	77	2,366	22	191
8	79	2,389	21	229
9	77	2,347	23	235
10	80	2,425	24	209
11	77	2,331	20	210
12	74	2,353	24	230
1	71	2,158	22	181
2	75	2,079	20	203
3	77	2,362	21	220
計	917	27,830	274	2,676

* 入所部門の利用者数は各月末時点での在籍者数(入院者を含む)。

(2) 令和6年度入所者及び退所者(短期入所を除く) (以下、令和7年3月31日現在)

入所者 21名 退所者 21名

(3) 利用者の介護度 平均 4.22

(4) 利用者の年齢 最高 103歳 最低 52歳 平均 86.7歳

(5) 利用者の男女別数 (男) 18名 (女) 60名 計 78名

3. 主要行事等の実施状況

4月	花見、外出、近場の散歩
5月	ドライブ、音楽会、外食
6月	バーベキュー、外食、ドライブ、近所への散歩
7月	七夕行事(職員による演奏会)
8月	スイカ割り
9月	灘崎荘敬老会
10月	灘崎荘フェスティバル(秋祭り)、お神輿
11月	演奏会、外食、買い物
12月	クリスマス会
1月	初詣 ※コロナ、インフルエンザ感染拡大により一部行事が開催できず
2月	節分・豆まき
3月	おやつバイキング、外出

※上記以外に誕生日会を随時開催 手作りおやつ・定例食事会・カフェを毎月開催。

4. 地域・その他との交流の状況

- ・8/3(土)彦崎地区夏祭りへの参加
- ・9/26(木)倉敷中央高校のウェルフェアデイに利用者2名参加する
- ・9/27(金)彦崎保育園の園児来荘し歌や踊りを披露され、利用者との交流を図る
- ・3/8(土)玉野高校の生徒に来てもらい楽器の演奏を披露する
- ・3/11(火)彦崎小学校の児童らが来荘し歌や踊りを披露され、利用者と交流を図る

5. 実習生等の受け入れ状況

(1)倉敷中央高等学校 6名

1年生 2名 11/20(水)～11/26(火)土日祝除く5日間

2年生 2名 10/28(月)～11/15(金)土日祝と11月6日(水)を除く13日間

3年生 2名 5/21(火)～6/7(金)土日と5月27日(月)を除く13日間

(2)岡山瀬戸高等支援学校

2年生 1名 1/27(月)～2/7(金)土日を除く10日間

6. ボランティアの受け入れ状況

- ・9/14(土)灘崎荘敬老会にて催し物に彦崎レディース様(ダンス)
かさぐるま様(太鼓の演奏)をして頂く
- ・10/26(土)灘崎荘フェスティバルにて催し物に彦崎レディース様(ダンス)
かさぐるま様(歌や踊り)、興陽高校和太鼓部(太鼓の演奏)
彦崎剣道スポーツ少年団(ハンドベルの演奏、歌や踊り)
- ・12/24(火)、12/25(水)の2日間クリスマス会にて内田洋子様とその息子さん(全盲の方)
をお招きして歌を披露して頂く

7. 広報・啓発活動

- ・ホームページを活用した多様な情報の告知・提供
- ・施設内掲示板への掲示(事業計画、事業報告、決算概要など)
- ・介護サービス情報公表制度による事業内容の公開
- ・施設案内パンフレットの配付

8. 職員の配置状況(令和7年3月31日現在)

常勤職員 46名(介護士29名、看護師5名、介護支援専門員2名、生活相談員3名

機能訓練指導員1名、管理栄養士2名、事務4名(施設長を含む))

非常勤職員 12名(介護士6名、宿直3、洗濯担当3)

採用者及び退職者 採用 12名 退職 10名

9. 委員会等の開催状況

- | | | |
|-----------------|---|-------------|
| (1)感染対策委員会 | } | 各々 3ヵ月ごとに開催 |
| (2)拘束・虐待委員会 | | |
| (3)事故対策委員会 | | |
| (4)食事委員会 | | |
| (5)ショートステイ担当委員会 | | 半年に1回開催 |
| (6)入所判定委員会 | | 年2回開催 |

10. 職員の研修等の参加状況

○施設内研修(テーマ別研修)の実施状況

- | | | |
|-----------------|---|----------|
| (1) 身体拘束及び虐待予防 | } | 各々 年2回開催 |
| (2) 感染対策(BCP含む) | | |
| (3) 事故防止 | | |
| (4) 医療・褥瘡 | | |

○外部研修への参加状況

- (1) 県外 0回 0名
- (2) 県内 12回 延 9名

研修名	場所	参加職種
社会保険制度説明会	ライフパーク倉敷	事務職員
算定基礎届事務講習会	玉野市荘内市民センター	事務職員
介護支援専門員 更新研修	オンライン・岡山西河原プラザ	介護支援専門員
岡山民間社会福祉従事者共済・育成制度事務説明会	オンライン	事務職員
初任者重点テーマ強化研修	きらめきプラザ	介護職員
チームリーダー重点テーマ強化研修	きらめきプラザ	介護職員
介護現場における認知症ケア研修会	岡山国際交流センター	看護師
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース	きらめきプラザ	介護職員
安全運転管理者講習	コンベックス岡山	介護支援専門員
介護福祉士実務者研修	富山荘	介護職員
障害者雇用納付金制度事務説明会	ポリテクセンター	事務職員
給食施設栄養管理者講習会	岡山市役所	管理栄養士

○その他 消防・防災(消火、避難)訓練 2回

BCP(自然災害)訓練、研修 2回

○灘崎荘 通所介護事業所

1. 利用者の推移

月	介護保険適用通所介護事業(介護予防)				介護保険適用通所介護事業(介護)			
	開所 日数	登 録 者数(名)	延利用 日数(回)	1日平均 利用者数(名)	開所 日数	登 録 者数(名)	延利用 日数(回)	1日平均 利用者数(名)
4	20	6	46	2.3	26	23	263	10.1
5	21	6	40	1.9	27	24	273	10.1
6	18	6	31	1.7	25	24	260	10.4
7	21	6	39	1.9	27	25	270	10.0
8	16	6	39	2.4	26	25	229	8.8
9	19	6	36	1.9	25	25	220	8.8
10	20	6	37	1.9	27	23	256	9.5
11	18	5	29	1.6	26	23	256	9.8
12	14	5	27	1.9	24	26	254	10.6
1	16	5	29	1.8	24	24	238	9.9
2	14	4	26	1.9	24	25	239	10.0
3	20	3	21	1.1	25	26	274	11.0
計	217	64	400	1.8	306	293	3,032	9.9

令和6年度1年間での新規利用(登録)者数

要支援者	0名
要介護者	15名
【担当居宅名】	
灘崎荘在宅支援事業所	6名
アールケア居宅介護支援事業所	2名
ふたば会 指定居宅介護支援事業所	1名
ゆめの里在宅介護支援センター	2名
南岡山ナースینگホーム在宅介護支援センター	1名
ケアプラン優	1名
ケアマネジメントサービスほのかf	1名
岡山しげい居宅介護支援事業所	1名

令和6年度1年間での利用中止(登録抹消)者数 13名

施設入所	9名	担当居宅名	灘崎荘在宅介護支援センター	6名
			ふたば会 指定居宅介護支援事業所	1名
			ゆめの里在宅介護支援センター	1名
			アミューズ富永 ケアプランセンター	1名
死去	3名	担当居宅名	灘崎荘在宅介護支援センター	2名
			ふたば会 指定居宅介護支援事業所	1名
その他	1名	担当居宅名	岡山しげい居宅介護支援事業所	1名

2. 各種行事の実施状況

レクリエーション実施内容

○ 誕生日会	毎月	○ 運動会	6月
○ カレンダー作り	毎月	○ 納涼祭	7月
○ 園芸クラブ・寄せ植え	毎月	○ 男の料理	7月
○ フラワーアレンジメント	毎月	○ スーパーボール選手権大会	8月
○ さわやかゲーム	毎月	○ 備前焼	8月
○ 創作クラブ 9・10・11	毎月	○ 夏祭り	8月
○ ナースの健康教室	毎月	○ みさお牧場	9月
○ 足湯	毎月	○ 敬老会	9月
○ クッキングクラブ	毎月	○ ハロウィンパーティー	10月
○ マッサージ	毎月	○ 秋の運動会	10月
○ お茶の日	毎月	○ さんまパーティ	11月
○ カラオケ	毎月	○ しめ縄作り	12月
○ アニマルセラピー	毎月	○ デイサービス忘年会	12月
○ 喫茶せつ	偶数月	○ クリスマスケーキ作り	12月
○ いつこCafé	奇数月	○ お屠蘇	1月
○ 絵手紙	随時	○ 新年会	1月
○ 菜園日 829	随時	○ とんど	1月
○ マダムcafé	随時	○ 由香神社	1月
○ お楽しみの日	随時	○ 豆まき	2月
○ じゃがいも植え	9月・3月	○ チョコレートファウンテン	2月
○ じゃがいも掘り	5月・11月	○ 男のスイーツ作り	3月
○ じゃがいも収穫祭(調理)	6月・11月	○ お楽しみの日	随時

3. 交流行事の実施状況

9月 なかよし会演芸
3月 なかよし会演芸

4. 実習生等の受入状況

介護実習生 倉敷中央高校1年生2名 6/19-6/21
倉敷中央高校2年生2名 5/29～5/31
7/22～7/26
8/20～8/27
※灘崎中学校職場体験 11/7～11/9
灘崎中学校2年生2名

5. ボランティアの受け入れ状況

実人員 10名 延 25名 山田さん+2匹 長谷川さん+1匹
実犬 3匹 延 25匹 なかよし会5名 津村さん 石丸さん 藤原さん

6. 職員の配置状況(令和7年3月31日現在)

常勤職員 7名
非常勤職員・パート 3名

7. 職員の研修等の参加状況

- 事業所内研修
 - 災害対策 地震・津波 (机上) 災害対策 地震・津波 (実地)
 - 入浴介助 接遇 感染症対策 身体拘束・虐待防止
- 事業所外研修
 - 認知症ケア研修会
 - ハラスメント

○灘崎荘在宅介護支援センター(居宅介護支援事業)

9月には平成28年以降8年ぶりの運営指導があったが大きな指摘も無く8年前と同様に概ね良好という指導結果を貰う事が出来た。今後も法令を遵守し適切なケアマネジメントを遂行する。

介護ケアプラン、予防ケアプランとも前年度より件数が減少となった。引き続き包括支援センターやMSW、サービス事業所、主治医等との関係を良好に保ち新規紹介に繋げたいと思う。

認定調査件数は前年度と大差無く対応出来た。介護支援業務に関する研修については各自計画的に受講する事が出来た。今後も積極的に参加しスキルアップを図っていく。

1. 介護給付ケアプランの作成件数 (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	62	64	66	68	63	63	59	58	56	58	54	57	728

2. 予防ケアプランの作成件数 (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	19	22	21	23	21	20	21	21	22	20	19	18	247

3. 認定調査件数 (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	2	3	2	3	3	2	2	1	1	4	2	1	26

4. 職員の配置状況(令和7年3月31日現在)

常勤職員:2名 非常勤:1名

5. 職員の研修等の参加状況

- | | | |
|----------------|-----|-------|
| (1) 施設外研修 | 4 回 | 延 5名 |
| (2) 事業所内研修・見学等 | 6 回 | 延 18名 |

(富山荘関係)

《特別養護老人ホーム富山荘》 (平成 17 年 8 月 1 日開設)

令和 6 年度ご入居様の平均介護度は【3.9】平均年齢は【88.3 歳】でした。
(令和 7 年 3 月 31 日時点)

入居者は 29 名、退居者は 26 名 (令和 7 年 3 月 31 日時点)

令和 6 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大はありませんでしたが、各階での感染は確認され、ユニット間の行き来、各階への行き来を禁止し対応を行っていききました。今年度は昨年度(入居者 19 名・退居者 21 名)をさらに上回る入退居で、空床を埋めることがなかなかできませんでした。

退居後、ショートステイをご利用の方に入居していただくケースも多くありました。待機者が少なく、営業を行ってはいましたがすぐに入居していただく事が難しくなっています。

ご入居者様対応に関しましては、面会を緩和しユニットへ上がってもらうことができました。現在は、感染対策を呼び掛けながら外出・外泊の緩和も行っています。ご家族様・ご利用者様ともに喜ばれておられます。

富山荘もかなり年数を経過しており、令和 6 年度は居室の壁紙の張替えを行い、お風呂や車(リース)を新しく購入させていただきました。

職員については特定技能外国人 1 名が、実務者研修へ合格。この度介護福祉士の国家試験を受験しましたが、惜しくも合格することができず、来年また挑戦する運びとなりました。職員の研修については、施設職員による内部研修を毎月実施。また、外部講師による研修も 2~3 ヶ月に 1 回は開催。医師会移動会長室事業で松山 Dr. にも研修を行っていただきました。また外部へ出向いての研修に力を入れ行い、令和 6 年度もユニットリーダー研修へ受講しています。

BCP(事業継続計画)の取組みも継続して力を入れており、毎月の会議並びに BCP 訓練を行い災害に備え体制を整え、家族会にて発電機も購入していただきました。

地域との交流では今年度もオレンジカフェに参加し、相談コーナーを担当。オレンジカフェに参加された地域の方から相談を受け、アドバイスを行っています。また、地域で富山文化展が開催され今年も入居者様の作品を出展、町内の溝掃除などにも積極的に参加しております。

令和 6 年度も職員の子供さん(5 人)が企業型ジョウキンダーガーデンを利用し就労されています。

《富山荘短期入所事業》

特養で退去が続き、ショートステイご利用の方が富山荘の特養へ入居されるケースが何件もあり、ショートステイの稼働率が徐々に低下しております。

また、ショートステイのご利用様が4名同じ時期に肺炎で入院され、キャンセルが相次ぎました。現在は、相談員が営業を行い新規のご利用者も増えてきてきておりますが、未だ今までの稼働率（80%以上）には戻れていません。

職員よりショートステイのご利用者が楽しみを持って富山荘へ来れるように野菜などの栽培をしたいとの申し出があり、現在富山荘入り口門の左花壇にトマト・ピーマン・ししとう・青じそ等を植えております。

《福祉有償運送 富山荘》

現在の登録数は 84 名（令和7年3月末時点）、月平均 20 名程、月平均利用数 91 回
買い物や病院受診、支援学校への送迎などに利用されています。

前期（4月～9月）の実績は、400,030 円 後期（10月～3月）の実績は、381,170 円となっています。昨年度の課題だった、職員が個々で予約を取り営業時間外・営業日以外の予約受付を受付けていた件に関しては、現在は管理者の元で予約管理が徹底できており、ダブルブッキングや職員の福祉有償業務での超過勤務は改善されています。

○ 特別養護老人ホーム富山荘

1. 特養利用者定員 50名 短期入所定員 10名

2. 利用者(入所者)の状況

(1)利用者数及び延利用者日数

月	入 所 部 門		短 期 入 所 部 門	
	利用者数(名)	延利用者日数(日)	利用者数(名)	延利用者日数(日)
4	49	1,491	23	206
5	48	1,559	24	200
6	49	1,423	21	209
7	50	1,554	23	229
8	50	1,548	21	190
9	48	1,502	24	203
10	49	1,551	25	212
11	49	1,498	24	196
12	48	1,523	22	211
1	48	1,454	23	200
2	51	1,401	20	149
3	52	1,569	19	142
計	591	18,073	269	2,347

*入所部門の利用者数は各月末時点での在籍者数(入院者を含む)。

(2)令和6年度入所者及び退所者(短期入所を除く) (以下、令和7年3月31日現在)

入所者 29 名 退所者 26 名

(3)利用者の介護度 平均 3.9

(4)利用者の年齢 最高 103歳 最低 60歳 平均 88.3歳

(5)利用者の男女別数 (男) 8名 (女) 42名 計 50名

3. 主要行事等の実施状況

4月	祈願祭・お花見・3階喫茶(シャトレーゼ)
5月	4階喫茶(白十字)
6月	災害ランチデー(ビーフカレーセット)
7月	かき氷・3階喫茶(ドンレミー)
8月	そうめん流し・災害ランチデー(中華丼)・2階喫茶(白十字)
9月	敬老会(岡山うらじゃ チーム環境参加)
10月	保育園とハロウィン・焼き芋会・2階喫茶(シャトレーゼ)・4階喫茶(白十字)
11月	紅葉ドライブ・おでんパーティー
12月	クリスマス会・餅つき(保育園児と)・3階喫茶(シャトレーゼ)・4階喫茶(白十字)
1月	初詣・3階デリバリー寿司
2月	節分・豆まき
3月	ひな祭り・2階、3階、4階喫茶(ミスタードーナツ)

※上記以外に誕生日会を随時開催 毎月リハビリクッキング開催・毎月ヨーガ体操、習字

4. 地域・その他との交流の状況

認知症オレンジカフェ

東区地域ケア連携会議・支え合い推進会議

富山学区文化展

5. 実習生等の受け入れ状況

①ノートルダム清心大学 管理栄養士実習 4名

②ノートルダム清心大学 教育職員介護体験 1名

③職場体験実習 富山中学校 3名

6. ボランティアの受け入れ状況

実人員 1名 リハビリクッキング等ユニット行事への参加並びに環境整備

延人員 1名

7. 広報・啓発活動

- ・ホームページ開設。イベント情報や職員求人等掲載。
- ・施設内での掲示(事業計画、事業報告、決算概要など)
- ・介護サービス情報公表制度による事業内容の公開
- ・年4回広報誌作成
- ・施設案内パンフレットの配付

8. 職員の配置状況(令和7年3月31日現在)

常勤職員 30名(介護士 19名、看護師4名、介護支援専門員1名、生活相談員2名
機能訓練指導員1名、管理栄養士1名、事務2名(施設長を含む))

非常勤職員 15名(介護士 6名、補助員2名、宿直2、洗濯担当2、清掃2、事務員1)

採用者及び退職者 採用 12名 退職 12名

9. 委員会等の開催状況

- (1)事故検討委員会・身体拘束委員会・虐待防止委員会
- (2)感染予防委員会(新型コロナウイルス感染予防委員会)・入浴委員会
- (3)給食委員会・行事広報委員会・排泄委員会・褥瘡対策委員会
- (4)ショートステイ担当委員会 2ヵ月ごとに開催
- (5)入所判定委員会 3ヵ月1回開催(本年度に関しては第3者委員には書面送)

10. 職員の研修等の参加状況

○施設内研修(テーマ別研修)の実施状況

- | | |
|---|--------------------|
| (1)身体拘束及び虐待予防 | } (1)～(4) 各々 年2回開催 |
| (2)感染対策及び褥瘡予防 | |
| (3)事故防止 | |
| (4)BCP訓練研修 | |
| (5)2・3ヶ月ごとに外部講師研修(口腔ケア・感染対策)・医師会移動会長室事業(ACPとは…) | |
| 実務者研修(1名) 喀痰吸引実地研修(2名) | |
| 光洋(株)おむつの研修 ・ 看取り研修 ・ AED研修 | |

○外部研修への参加状況

(1) 県外 0 回 0名

(2) 県内 23 回 延 25名

研修名	場所	参加職員
認知症の人とのかかわり方	岡山ふれあいセンター	介護職員
リスクマネジメント(基礎編)	岡山ふれあいセンター	介護職員UL
看取り研修① ～施設での看取りについて～	西大寺ふれあいセンター	介護職員
介護技術基礎「緊急時・事故対応」	西大寺ふれあいセンター	介護職員
介護職のための看取りケア	南ふれあいセンター	介護職員
介護におけるチームコミュニケーション	西大寺ふれあいセンター	介護職員
介護技術基礎「観察と記録」	西大寺ふれあいセンター	介護職員
意思決定支援と権利擁護(応用編)	南ふれあいセンター	介護職員
高齢者の不調の訴えに対する対応のポイントと観察眼	ウェルポートなださき	介護職員
続・岡山県社会福祉介護移設の災害対策への現状と課題	西大寺ふれあいセンター	主任相談員
介護技術基礎「口腔ケア」	西大寺ふれあいセンター	介護職員
管理者のためのOJT講座	南ふれあいセンター	介護課長
リスクマネジメント(応用編)	南ふれあいセンター	介護職員UL
チームリーダー重点テーマ強化研修	きらめきプラザ	介護職員UL 2名
看取りケア 尊厳と生活	富山荘 Web	管理栄養士
リーダーシップを引き出して人材定着率を高める方法	西ふれあいセンター	介護職員UL
喀痰吸引等研修	富山荘	介護職員 2名
令和6年度岡山県特定給食施設関係者研修会	岡山芸術創造劇場ハレノワ	管理栄養士
2024年度ユニットリーダー研修	Web/天神荘	介護職員UL
令和7年度地域共生社会推進セミナー	岡山市勤労者福祉センター	施設長
岡山県介護生産性向上 事例発表会並び機械展示会	岡山まきび会館	施設長・介護課長
令和6年度給食施設栄養管理者講習会	岡山市役所	管理栄養士
認知症介護基礎研修 eラーニングシステムズ	富山荘 eラーニング	介護職員

○その他 消防・防災・災害(消火、避難)訓練 2回

(藤田荘関係)

《特別養護老人ホーム藤田荘》（平成 19 年 10 月 1 日開設）

今年度は、入居者の方々の退所も 5 月初に 1 名あった他、それ以降 2 月末までではなく（病院入院後退所に至った方 2 名を除いて）、2 月末から 3 月初に 3 名の方の退所が続きました。1 月にインフルエンザ感染症が集団発生しましたが、それ以外は緊急・急変等もなく比較的穏やかな 1 年であったように思います。（稼働率 96.9%）介護職員の退職も正職 2 名でした。経常収支も約 700 万円と前年の 297 万円に比較して 2 倍以上向上しました。

《藤田荘短期入所生活介護事業所》（平成 19 年 10 月 1 日開設）

昨年度の利用率 56.0%に比較すると今年度は 65.5%と上昇しました。経常収支も、443 万円と前年の 205 万円に比べて 2 倍以上向上しました。介護職員の退職者は常勤(時間給者)が 1 名ありました。その後は、経験豊富な継続雇用者等をあてがい、サービスの質も向上し、利用者の満足度も上がって来ていると思います。

《藤田荘認知症対応型通所介護事業所》（平成 19 年 10 月 1 日開設）

利用者は、要介護 3 以上の方が半数を占めており、施設入所される方も多いですが、新規利用者もあり、一定の利用者数を維持しています。地域交流として「カフェ藤田荘」を再開し、地域の方々に喜んでいただきました。また、町内会からの依頼で、住民の方と一緒に、大曲町内会夏祭りで、「岡山市民体操」を披露させていただきました。その他、岡山県介護福祉士会からキャリア研修講師として任命を受け、瀬戸内市の高齢者施設で「認知症の理解とケア」という研修をさせていただきました。経常収支は、1,240 万円とほぼ昨年と同様となりました。職員の退職等はありませんでした。

《藤田荘小規模多機能型居宅介護事業所》（平成 19 年 10 月 1 日開設）

昨年と同様に、利用者登録者数を平均で 20 名以上(23 名～19 名・要支援利用者 3 名を含めての数)をキープすることができましたが、冬期になってからの利用者の入退院が増えました。職員は正職員 7 名、パート職員 6 名の計 13 名(常勤換算 11.1 名)で、充実したサービス提供ができたと思います。3 月には「外部評価」を運営推進会議メンバーによって実施し、おおむね良好な評価を頂いております。経常収支はマイナス 450 万円と昨年のプラス 190 万円と比べて、大幅に下がっています。これは、職員紹介会社に支払った手数料支出 230 万円(3 名分)と、賞与支出 80 万円増および非常勤職員給与支出 120 万円の増が影響していると思われます。退職者は正職員 1 名、パート職員 1 名でしたが、いずれも職員紹介会社からの紹介雇用によるものでした。今後の計画として、要介護登録者数 20 名以上(要支援者は別にすると)、職員員数(人件費)の適正化を検討して収益改善を図っていきたいと思います。

○ 特別養護老人ホーム藤田荘（短期入所含む）

1,定 員 特別養護老人ホーム 29名, 短期入所 5名

2,入居者(利用者)の状況

(1)利用者数及び延利用者数

	特別養護老人ホーム(特例1床を含み30床で計算)		ショートステイ(特例1床を減じ満床4床で計算)	
月別	利用者実数平均(1日/人)	延利用者日数(人)	利用者実数平均(1日/人)	延利用者日数(人)
4月	28.0	840	2.5	77
5月	27.1	843	1.9	59
6月	28.0	840	2.5	77
7月	29.3	910	2.9	92
8月	30.0	930	2.9	91
9月	30.0	900	2.9	89
10月	30.0	930	2.4	81
11月	30.0	900	2.8	84
12月	29.1	904	2.5	80
1月	28.9	896	2.3	73
2月	29.3	822	2.7	77
3月	29.0	900	2.4	77
計	平均29.1	10,615	平均 2.6	957
※昨年度10,312人より303人増。(稼働率96.9%)			※昨年比、年間860人より延べ利用者数97人増。(稼働率65.5%)	

(2)利用者の介護度 平均 4.1 (昨年度3.7)

(3)利用者の年齢 高 104歳 低 72歳 平均 90歳 (昨年度89歳)

(4)利用者の男女別数 (男) 7名 (女) 22名 計 名

(5)入退居の状況 退居者 6名 (※退居者のうち2名は病院入院により退所) 新入居者 6名

(6)待機者の状況 46名 ※(年度末時点での数値)

3、各種主要行事等の実施状況

毎月の行事	リハビリクッキング	おやつ作りを入居者参加型で各ユニットで延べ14回実施
	誕生日会	延べ20回開催
4月	お花見ドライブ、お茶会、生け花教室、散歩外出	
5月	食事会、鯉のぼり作り、鯉のぼりゲーム、鯉のぼり外出	
6月	後楽弁当、入居者健康診断、第1回防災訓練、カエルたたきゲーム	
7月	七夕短冊作り、七夕会、七夕歌会、夏祭り、スイカ割り	
8月	風鈴作り、かき氷作り、おやつバイキング	
9月	敬老会(大衆演劇「伊つき座」公演)、お月見クラブ、生け花教室	
10月	ハロウィン、おはぎ作り、県知事選不在者投票、紅葉飾り作り、散歩外出、自宅一時外出	
11月	焼き芋、第1回消防避難訓練、外出(深山公園)、運動会、外出支援(自宅)、ホッケーゲーム、年賀状作り	
12月	外出支援(自宅)、お茶会、クリスマスケーキ作り、クリスマス会、第1回消防・防災訓練	
1月	おせち、獅子舞	
2月	節分豆まき、バレンタインチョコ作り、外出(Pモール)、生け花教室、外出支援(自宅)、第2回目消防・防災訓練	
3月	ひな祭りデザート作り、健康祈願祭(藤田神社)	

4、地域交流他の状況

定 例	都六区お出かけサポートに車両貸出(延べ13回)
4・9・2月	社団法人MOAによる、生け花+花瓶の提供、施設内に展示(延べ3回)
6・9月	大曲環境保全組合より「プランターの花」寄贈
8月	地域の「大曲夏祭り」に参加、岡山市地域包括センターに入居者の折り鶴寄贈
10月	大曲道通神社祭礼に参加
11月	大曲児童館敷地内の楠木の伐採幹の寄贈を受ける。
12月	藤田大曲地区防災訓練に参加、家族会大掃除実施
他施設への見学	「くらしき日和平田」「倉敷のぞみ荘」「天赦の里」「桜の里山科(横須賀)」
見学受け入れ	倉敷湘南高校、玉野備南高校、大阪の2介護事業者(太陽光発電について)
岡山県老施協会議への参加	延べ8回参加(理事会・地域密着施設部会、予算策定委員会等)
玉野ハローワーク面接会	延べ7回参加(玉野山田荘と合同開催の面接会)

5、職員の配置現況（短期入所含む）

※(年度末時点での集計)

介護職員	常勤15名、非常勤7名 常勤換算18.2人（※職員1名に対して利用者1.86人の配置）※昨年度常勤換算18.9人（うち介護福祉士11名）	22名
看護職員	常勤2名	2名
施設長・生活相談員・介護支援専門員・機能訓練指導員・管理栄養士・事務員・医師	各職種常勤7名（医師1名は非常勤）	7名
※(介護)職員の平均年齢は、特養36.8歳、ショート65.8歳となっております。		計 31名

※ 年度内採用・退職・異動の状況

		介護職員	看護師	管理栄養士	小計
採用	正職員	1名			1名
	準職員	2名	1名		3名
退職	正職員	2名		1名	3名
	準職員	1名			1名
異動・出向	正職員	2名	山田荘から(介護士、ケアマネ)受け入れ		
		1名	灘崎荘から(管理栄養士)応援受け入れ		
		1名	小多機から(介護士)受け入れ		
		1名	山田荘へ(介護士)異動		

※ 上記採用者4名のうち、紹介会社からの採用者数(3名)

6、委員会等の開催状況（年 間）

運営推進委員会(5・7・9・11・1・3月)	6回開催	苦情処理委員会	第三者委員会1回開催
栄養サポート委員会	10回開催	事故防止委員会	11回開催
ユニット内栄養サポート委員会	10回開催	入所判定委員会	第三者委員会1回、調整会議7回
行事委員会	10回開催	感染・褥瘡予防委員会	18回開催
身体拘束廃止・虐待防止委員会	6回開催		

7、外部研修の実施状況（施設外での研修）

職 種	研修内容（研修名、キーワード記載）	受講人数
介護職員、事務職、ケアマネ、相談員、栄養士等	介護職員初任者研修、新卒採用研修、社会保険研修会、マイナナンバー研修会、生活機能の維持改善につながるレクリエーション、介護現場の目標設定とアセスメント、新任介護職員交流研修、社会保険事務職研修、薬の基礎知識、介護職のための看取りケア、認知症の予防と対策、意思決定支援と権利擁護、緊急時の対応・連絡・連携研修、高齢者の不調の訴えへの対応と観察、介護事故防止研修、家族への対応・クレーム対応、観察と記録、地密特養意見交換会(2回)、防災力対応研修、福祉避難所について、BCP研修、認知症の方のための食事作りと介護技術、看取り研修、褥瘡予防研修、災害時の安全な食事提供、ユニットリーダー研修(2名)、	延べ37人

8、施設内研修の実施状況（外部講師等による施設内での研修）

5/18	新任研修「虐待・身体拘束廃止・事故発生時の対応」	新任職員49名参加、講師 藤田荘相談員
6/12	「ポジショニング研修」	介護職員等10名参加、講師(株)アークリード
6/19	「BCP机上訓練」	介護職員等7名参加、講師 あいおいニッセイ損害会社
7/17	「感染症対策」	介護職員等6名参加、講師 あいおいニッセイ損害会社
〃	人権研修「ハラスメントを起こさないために」	職員7名参加、講師岡山市人権推進課
10/2	看護・介護ケア会議「看取りについて」	特養多職種参加 講師 藤田荘看護師
10/30	「認知症当事者のお話から認知症ケアを考える」	介護職員等9名参加、講師 グループホーム協会
11/20	「介護におけるリスクマネジメント」	介護職員等8名参加、講師 旭川荘厚生専門学院
12/9	「介護職の倫理の実践的理解と展開」	介護職員等10名参加、講師 介護福祉士会
1/29	「介護職のための腰痛予防対策」	介護職員等7名参加、講師 介護労働安全センター

9.その他の事項

4/3	弁護士による事故対応検証会を実施	12/16	博愛会病院より「感染対策実地指導」を受ける。
6/11	「能登半島地震・避難生活…」を老協で発表	1/14	ACP研修「岡山県医師会長が行く、虹色サロン」が藤田荘で開催される。参加者48名
7/24・8/7	法人ハラスメント研修会に参加		
9/19	法人BCP委員会に参加		

○ 藤田荘認知症対応型通所介護事業所(介護予防含む)

1、定 員 12名

2、利用者の状況

(1)利用者数及び延べ利用者数

月別	介護予防通所介護事業		介護保険通所介護		一日平均利用者数 (人)
	実利用者数	延利用日数(人)	実利用者数	延利用日数(人)	
4	0	0	14	223	8.6
5	0	0	15	243	9.0
6	0	0	15	234	9.4
7	0	0	14	226	9.4
8	0	0	14	242	9.0
9	0	0	14	232	9.3
10	0	0	15	255	9.4
11	0	0	16	258	9.9
12	0	0	16	239	10.0
1	0	0	16	232	9.7
2	0	0	17	241	10.0
3	0	0	16	213	8.2
小計	0	0	182	2838	9.3

(※昨年と同様で利用者なし)

(※昨年と比較して267人減)

(2)利用者の介護度 平均 3.0

(3)利用者の年齢 最高 94 歳 最低 65 歳 平均 86.4 歳

(4)利用者の男女別数 (男) 2 名 (女) 14 名 計 16名 ※(年度末時点での数値)

3、各種主要行事等の実施状況

月 別	行 事	内 容
毎月	誕生日会	手作りケーキとお手製プレゼント
4月	お花見他	深山公園、遠藤ボタン園
7月	七夕会	七夕飾り作り、ペープサート(彦星と織姫の話)、カリンバ演奏
8月	夏祭り	ウクレレ演奏と歌のショー、浴衣美人コンテスト、ヨーヨー釣り、射的、すいか割り
9月	敬老会	銭太鼓、ウクレレ演奏、フラダンスショー
10月	運動会	玉入れ、パン食い競争
11月	秋祭り	お神輿行列
12月	お飾り作り	大曲老人クラブボランティア協力
	クリスマス会	ゲーム、手品、ウクレレ弾き語り、マツケンサンバ踊り
1月	初 詣	藤田神社
2月	節分祭	鬼退治ゲーム、恵方巻作り
3月	ひな祭り	ひな壇飾りゲーム、ペープサート(流し雛のお話)

4、地域交流他の状況

定例	毎月1回、藤田大曲地区の高齢者の買い物支援を行っている。
4月	カフェ藤田荘開催、藤田大曲児童館閉鎖に伴い手芸材料の寄付を受ける。
8月	藤田大曲納涼夏祭り(市民体操を住民と共に披露)
10月	大曲道通神社祭礼に参加
11月	大曲地区防災訓練に参加、藤田中学校2年生職場体験受け入れ
1月	キャリア形成研修講師として、瀬戸内市の老人福祉施設で「認知症の理解とケア」の講演をする。
12月・2月	南区西福祉地区支え合い推進会議に参加
7月・11月・2月	北児島ケアネット運営委員会に参加

5、ボランティアの受け入れ

9月 敬老会に地域の住民の方の応援ボランティアあり。

6、職員の配置現況

※(年度末時点)

管理者	常勤、生活相談員・介護士兼務	1
介護職員	非常勤8名(常勤換算3.9名、うち1名は生活相談員兼務、介護福祉士3名)	8
機能訓練指導員	非常勤1名(あんまマッサージ師)	1
計		10名

※職員の平均年齢は62.6歳となっております。

※ 年度内採用・退職の状況

採用者・退職者・異動・応援等なし。

7、職員外部研修の実施状況 (施設外での研修)

職 種	研 修 内 容	受講人数
介護職員等 (キーワード)	「ハラスメント防止」、「急変予測」、「若年性認知症」、「認知症の最近の話題」、「医療・介護同時改正」、「いざという時の心構え」、「生活機能維持」	延べ10人

令和6年度 藤田荘小規模多機能型居宅介護事業所

登録人数 25名 通い定員15名 訪問(随時) 宿泊定員5名(+緊急時3名)

1. 利用者の状況

(1)利用者数及び延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
登録者数	23	21	20	21	21	21	20	20	20	20	19	19	245	20
利用者介護度	2.2	2.2	2.2	2.1	2	2.2	2.2	2.5	2.5	2.5	2.6	2.5	27.7	2.3
通いサービス利用者	295	306	294	309	283	251	291	279	258	261	244	237	3308	276
訪問サービス利用者	87	75	78	92	77	33	33	58	61	60	56	66	776	65
宿泊サービス利用者	113	125	122	116	109	98	107	104	107	109	100	110	1320	110
前年度比 ⇒ 登録者数・・・20→20(増減なし) 介護度・・・2.4→2.3 通い・・・270→276、訪問・・・133→65(半減)、宿泊・・・93-														

(2) 利用者の介護度 平均 2.0

(3) 利用者の年齢 最高 100歳 最低 72歳 平均 84歳

(4) 利用者の男女別数 (男) 5名 (女) 14名 ※年度末時点での数値

2. 職員の配置状況

常 勤	管理者1名(介護支援専門員・看護職員兼務)、介護支援専門員1名(主任・介護士兼務)、 介護職員5名(うち介護福祉士1名)	13名 (常勤換算 11.1名)
非常勤	介護職員6名(うち介護福祉士4名、うち1名看護職員、うち1名は育児短時間勤務中) 常勤換算4.1名	
採 用	介護職員(正職員3名、夜勤専従非常勤職員1名)	4名
退 職	介護職員(正職員1名、非常勤1名)	2名
異動・応援	藤田荘特養へ	1名
育児休暇中	介護職員(非常勤)	1名

※介護職員の平均年齢は46.3歳となっております。

3. 各種行事の実施状況

行事企画	実施月	実施日	行 事 内 容
お花見	4月	1日	深山公園へ花見・深山カフェでランチ・記念撮影
5月誕生日会	5月	10日	ケーキ作り・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
ネイルの日		24日	美容セラピー・記念撮影
6月誕生日会	6月	6日	ケーキ作り・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
客前料理		28日	天ぷらを食す・記念撮影
七夕まつり	7月	5日	短冊、竹笹かざり作り・紙芝居、ゲーム・写真撮影
7月誕生日会		24日	ケーキ作り・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
夏祭り	8月	8日	夏祭りゲーム/盆踊り
9月誕生日会	9月	9日	ケーキ作り・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
敬老会		14日	敬老祝い・敬老御膳を食す・記念撮影・演芸鑑賞
書を楽しむ	10月	8日	筆と墨と半紙を使用して創作・写真撮影
10月誕生日会		22日	ケーキ作り・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
11月誕生日会		13日	ケーキ作り・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影

12月誕生日会	12月	14日	ケーキ作り・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
クリスマス会		25日	クリスマスケーキ作り・利用者による演奏会・プレゼント・記念撮影
正月を祝う	1月	1～2日	新年のあいさつ・おせち料理・福笑い・書初め・かるた遊び・記念撮影
新年会		15日	職員によるかくし芸・記念撮影
寿司パーティー		22日	握り寿司を食す
1月誕生日会		25日	ケーキ作り・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
節分	2月	3日	巻さずし作り・紙芝居・豆まき・記念撮影
2月の誕生日会		20日	プリン作り・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
ひな祭り	3月	3日	ひなあられ、ひな祭りの由来・歌・ゲーム、お内裏・お雛様になり記念撮影
べんがら染め体験		20日	染め体験・記念撮影

4・職員研修実施報告

(施 設 内)			
6月	食中毒予防について、BCP研修(Web)	11月	リスクマネジメント研修
7月	法人人権啓発研修	12月	倫理の実践的理解について
8月	身体拘束・虐待防止研修、感染症予防対策研修	1月	県医師会移動会長室講座
9月	身体拘束廃止研修(施設内)	2月	介護に活かせるACP、法人部会事故・苦情対応について
10月	後見人制度について(Web)、認知症ケア研修		
(施 設 外)			
6月	「生活機能の維持につながるレクリエーション」	9月	「薬の基礎知識」、「若年性認知症の理解」
7月	「高齢者の疾患の特徴」、「スキンケア・フットケア」	10月	「音楽療法」、「不調の訴えに対する観察眼」
8月	「発達と老化の理解」	11月	「介護職のメンタルヘルス」、「認知症の基礎」、障害がある人と共に楽しむダンスとレクリエーション」

5. 地域交流等の状況

4月	藤田「遠藤ぼたん園」へボタンの花の観賞に行く。	10月	藤田神社秋祭りへ
5月	ファーマーズマーケット見学	11月	おかやまマラソン応援、どんぶらこ祭り参加
8月	「大曲地区夏祭り」に参加	12月	大曲地区地域防災訓練に参加
9月	藤田公民館芸能発表会を観覧	3月	藤田公民館文化祭に参加

6.その他の事項 ※3月の運営推進委員会を通じて、「小規模多機能型サービス外部評価」を実施

評 価 項 目	評 価 内 容
A.事業所自己評価の確認	取り組み内容を簡潔にし、継続して取り組めることができた。
B.事業所のしつらえ・環境	感染予防対策を継続とし、季節が感じられる雰囲気づくりに努めることができた。
C.事業所と地域のかかわり	地域の行事等の活動状況を運営推進会議で知り、参加することができた。。
D.地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	本人の住む地域の社会資源を活用することができた。。
E.運営推進会議を生かした取り組み	実地開催が年6回できたことと、直接構成員の方からの意見を聞くことができた。
G.事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練、事業所の防災訓練ができた。

（玉野山田荘関係）

《特別養護老人ホーム玉野山田荘》（平成 26 年 8 月 1 日開設）

令和 6 年度の入退居の状況は、新入居者 27 名（前年度 23 名）で、その内訳は医療機関が 18 名、老健等からの施設から入居が 3 名、在宅 6 名でした。一方、退居者 27 名（前年度 18 名）でした。年度末における平均介護度は 3. 73（前年度 3. 86）平均年齢は 86.6 歳（前年度 88.6 歳）と前年度と比較すると少し軽度化しています。入居率平均 95.8%、総利用者数 20863 名＋空床ショート利用者 127 名、合計 20,990 名（前年度 21,153 名）前年度比として 163 名減少しています。

職員の入退職の状況は、退職者 8 名：内訳ですが、常勤 5 名、時間給職員 3 名、前年度は退職者 10 名（常勤 3 名、時間給職員 7 名）でした。入職者 11 名：内訳ですが、正職員 5 名（介護職員 3 名・看護師 2 名）、時間給職員 6 名（介護職員 4 名・軽作業職員 2 名）を採用し、今現在、働かれている職員を大切に、職員同士が会話し易い環境（定期・随時での職員面談を密にして不安要素の排除）作りに努めます。

新たな採用活動として玉野市・玉野市ハローワークにて「採用に積極的に取り組んでいる企業」に選ばれ、市内に通う高校生や玉野市内での就職を希望している人に対して企業等を紹介する「たまのの企業ガイド 2025」に記載され配布される事となりました。

（掲載企業数 77 社・掲載料：無料）

施設内の教育体制については資格修得に努めます。株式会社光洋でのオシメマイスター習得、介護未経験者の職員採用に当たり（2 名採用）認知症介護基礎研修の習得及び教育体制の充実を致しました。又、災害に対する対策：地域との災害協力連携を考え、白石地域自主防災会へ参加及び避難訓練（火災・地震に備え lineworks の活用を含め実践形式にて活用）を定期的実施（事業継続計画：BCP の対応）、感染症対策（事業継続計画：BCP の対応）の研修年 2 回、身体拘束（虐待防止含む）の研修年 2 回、事故防止（医療的ケア含む）の研修年 2 回、看取りケアの研修年 1 回の委員会活動に準じた内部の研修を実施、専門的な知識を補うために、施設内での外部講師研修を招いた他、外部の研修も個別に取り入れて行きましたが、さらなる学習や周知が必要と感じています。又、地域交流とし、春・秋の町内清掃の参加、夏祭り参加（山田小学校）、胸上八幡宮の宮司より健康祈願祭をパブリックスペースで開催する事が出来ました。

尚、空床を迅速に入居移行する事ができ難かった状況ではあったのですが、生活相談員と共に社協や居宅事業所、病院等の地域連携室への営業活動を今年度は、密に行いつつ、自治会等に出向き、玉野山田荘の施設概要等の説明や施設見学への取組を行います。

《玉野山田荘短期入所事業》（平成 26 年 8 月 1 日開設）

令和 3 年 11 月 1 日より、特養の空床型ショートを開しています。空床型ショートなので、特養入居者で入院期間が長期になる場合等に活用を計画致しますが、令和 6 年度は 12 名（127 日間）の方が利用致しました。本年度も昨年同様、利用可能な状況時には、迅速な対応を行います。

○ 特別養護老人ホーム玉野山田荘

1. 特養入居者定員 60 名 短期入所定員 10 名

2. 入居者（利用者）の状況

(1) 入居者数及び延入居（利用）日数

	入 居 部 門		短 期 入 所 部 門	
月別	入居者数(名)	延入居日数(日)	利用者数(名)	延利用日数(日)
4	59 名	1,716	2	8
5	59 名	1,787	3	9
6	59 名	1,733	1	24
7	57 名	1,812	0	0
8	58 名	1,743	2	12
9	59 名	1,735	0	0
10	59 名	1,845	0	0
11	60 名	1,772	0	0
12	57 名	1,795	1	21
1	56 名	1,706	2	36
2	55 名	1,526	1	17
3	59 名	1,693	0	0
合計	697 名	20,863	12	127

(2) 令和 6 年度入居者及び退居者（短期入所除く）（以下、令和 7 年 3 月 31 日現在）

入居者 27 名 (在宅 6 名/医療機関 18 名/施設 3 名)	退居者 27 名(逝去 16 名/医療機関 11 名/ 在宅 0 名/老健 0 名/特養 0 名)
---------------------------------------	--

(3) 入居者の介護度

平均介護度 3.73 (5= 12 名、4= 24 名、3= 18 名、2= 5 名)

(4) 入居者の年齢

最高齢 104 歳 (1 名) 女性	最年少 64 歳 (1 名) 女性	平均 86.6 歳
--------------------	-------------------	-----------

(5) 入居者の男女別

男性 16 名	女性 43 名	計 59 名
---------	---------	--------

3. 令和 6 年度 行事等の実施状況 4. 地域ボランティア受入れも含む

内容	時期	場所	ユニット
お花見会（食事会）	4 月	屋外	1F 入居者
お花見ドライブ		外出	2F 入居者
天ぷら出張料理		ユニットホール	2F 入居者
お茶会	5 月	地域交流	全 入居者
買い物		外出	2F 入居者（数名）
料理作り（チキンカレー）		ユニットホール	2F 入居者
寿司出張料理		ユニットホール	2F 入居者
天ぷら出張料理	6 月	地域交流	1F 入居者
そうめん流し	7 月	屋外	全 入居者
お好み焼き作り		ユニットホール	2F 入居者

夏祭り（町内行事） 料理作り（ラーメン）	8 月	外出（山田小学校） ユニットホール	1F. 2F 入居者数名 2F 入居者
敬老会 寿司出張料理	9 月	セミパブリック ユニットホール	全 入居者 1F 入居者
獅子舞・神楽 秋のミニ運動会 料理作り（カレー） 料理作り（おでん）	10 月	地域交流・パブリック セミパブリック ユニットホール ユニットホール	全 入居者 全 入居者 1F 入居者 2F 入居者
紅葉ドライブ遠足 芋煮会 料理作り（おでん）	11 月	屋外 セミパブリック ユニットホール	1F 入居者 全 入居者 2F 入居者
料理作り（お好み焼き） クリスマス会	12 月	ユニットホール ユニットホール	1F 入居者 全 入居者
正月行事 健康祈願祭 料理作り（すき焼き）	1 月	セミパブリック セミパブリック ユニットホール	全 入居者 全 入居者 全 入居者
握り寿司パーティー 料理作り（天ぷら）	2 月	セミパブリック ユニットホール	全 居者 2F 入居者

地域交流等

白石地域班長会	4 / 14
白石地域自主防災会 防災委員会	4 / 21
白石自治会 総会	5 / 12
春の地区内清掃	6 / 9
山田地区 夏祭り	8 / 13
白石自治会 班長会	9 / 8
秋の地区内清掃	10 / 6
白市地区自主防災会避難	11 / 17

5. 実習生等の受け入れ状況

中学学園大学 人間栄養学科 R7 年 2 月 17 日～21 日 1 名 （3 年生）

6. 広報・啓発活動

随時	施設見学受け入れ、パンフレット配布、
----	--------------------

7. 職員の配置状況

(1) 職種及び配置状況

(令和7年3月31日現在)

事務 (管理者含む)	看護職員	生活相談員	管理栄養士	機能訓練員
2.3 名	4.5 名	1.3 名	1 名	1 名
介護支援専門員	介護職員	介護短時間職員	洗濯・掃除・シート交換	管理当直
1 名	21 名	6.3 名	2.5 名	2 名

(2) 全体数と平均年齢

職員全体数	計 51 名 (男性 13 名 女性 38 名) (介護職員=男性 6 名 女性 25 名)
平均年齢	全体＝ 51 歳 (介護職員平均＝48 歳)

(3) 令和6年度の採用者及び退職者

採用者数 11 名 (短期含む)	退職者 8 名 (正職員 5 名 時間給職員 3 名)
------------------	-----------------------------

8. 職員研修等の参加状況 (施設内の研修)

感染対策及び褥瘡予防	(定期開催)
身体拘束及び虐待防止	(定期開催)
事故防止及び医療的ケア	(定期開催)
看取り	(定期開催)

9. 職員研修等の参加状況

(施設内外部者研修)

施設での安らかな看取りケア	愛光苑 施設長	全職員対象
救急搬送に係る講習会	岡大救急救命センター 教授	全職員対象

(施設外の研修)

BCP 訓練 (感染編)	オンライン	介護職員
認知症の人とのかかわり方	岡山ふれあいセンター	介護職員
認知症の基本理解・傾聴	西大寺ふれあいセンター7	介護職員
高齢者疾患の特徴	南ふれあいセンター	介護職員
福祉避難所の設置・運営実務研修	きらめきプラザ	生活相談員
誤嚥性肺炎を予防するために	岡山ふれあいセンター	介護職員
特定給食施設関係者研修	岡山芸術劇場ハレノワ	管理栄養士
施設での看取りについて	西大寺ふれあいセンター	介護職員
薬の基礎知識	西ふれあいセンター	介護職員
生活支援の理解	西大寺ふれあいセンター	介護支援専門員
認知症介護基礎研修	オンライン	介護職員

トランスファー移動・移乗	岡山ふれあいセンター	介護職員
基礎から始める介護研修	百花プラザ	介護職員
看取りにおける多職種での介護職の役割	西大寺ふれあいセンター	介護職員
備前保健所感染症対策研修会	オンライン	介護職員
感染症対策の備えに必要なこと	オンライン	看護師・介護職員
公正採用選考人権啓発推進員について	倉敷芸文館	施設長
介護職のための看取りケア	南ふれあいセンター	介護職員
救急搬送に係る講習会	オンライン	看護師
介護現場における口腔ケア研修会	きらめきプラザ	介護職員
音楽療法と認知症ケア	南ふれあいセンター	機能訓練指導員
不調の訴えに対する対応のポイント	ウェルポートなださき	介護職員
介護技術基礎 口腔ケア	西大寺ふれあいセンター	介護職員
介護避難所運営に関する実務研修	きらめきプラザ	生活相談員
感染症の予防と対応	西大寺ふれあいセンター	介護職員
リスクマネージメント（応用編）	南ふれあいセンター	介護職員
感染症対策リーダー育成研修	岡山県看護研修センター	看護師
看取りにおける多職種での介護職の役割②	ウェルポートなださき	介護職員
高齢者虐待防止について	玉野市中央公民館	生活相談員
認知症の人への非薬物的介入	北ふれあいセンター	介護職員
認知症介護実践研修会	きらめきプラザ	介護職員
感染対策のツボ	オンライン	介護職員・看護師
認知症の人とのかかわり方	ウェルポートなださき	介護職員

（宮浦荘関係）

《特別養護老人ホーム宮浦荘》（平成 31 年 4 月 1 日開設）

令和 6 年度のご利用者の平均介護度は 3.6（前年度 3.9）、平均年齢は 89.4 歳（前年度 88.3 歳）でした（ともに令和 5 年 3 月 31 日時点）。また、令和 6 年度中の入退居者は、入居者 13 名（前年度 8 名）、退居者 11 名（同 7 名）となりました。平均介護度は下がっておりますが、今年度も認知症の症状が重い方が増えている傾向となっております。上半期の入居率平均 93.3%、下半期は 96.5%（平均稼働率 94.9%）と急な退居者（入院後に退居）が特に上半期に多く、長期入院者、待機者にも声をかけたが、入居希望がなく空床が続いたため稼働率としては目標値を下回りました。十分な営業ができなくなったため待機者が減り、退居者が出た際にスムーズな入居を行うことができませんでした。

施設内の教育体制として、感染症対策・褥瘡防止、事故防止、身体拘束・虐待防止の内部・外部研修を年 2 回委員会活動に準じて実施し、職員の専門的な知識を補っています。入居者受け入れ者に関しても、極めて医療依存度が高い方や資格保持が必須の対象者以外は、積極的に受け入れる体制にしています。また、今年度は介護士 1 名が喀痰吸引資格取得のため法人内施設へ実習に行かせていただきました。現在、他職員も同様資格を取得するため実習を受けています。さらに、ユニットリーダー資格取得も 1 名の介護士が取得しております。今後は、資格保持者が揃い次第、経管栄養や喀痰吸引が必要な入居者も受入れ、医療依存度の高い方にも対応していく体制づくりを行っています。

令和 6 年度には特に感染対策や接遇、事故防止、排泄面など、職員の知識や意識、技術面が不足している研修を積極的に取り入れていくように計画を組みました。内部研修では、各委員会の委員を中心に研修を考え、その他の職員にも行いました。また、外部講師を招き排泄面や感染症対策、褥瘡予防等の研修も行いました。

コロナ感染症においては、5 類に分類されていますが、依然として感染力や重症化のリスクには変わりはなく今年度も感染予防に注意をしていました。その中で、入居者の方に少しでも楽しんでいただけるように、行事計画等立てていきました。9 月にある町内の高嶋神社祭り開催時には、獅子舞が施設に来荘し玄関先ではありますが、入居者の方々の前で舞を披露してくださり記念写真を一緒に撮ることができました。新年 1 月にも、同様に獅子舞が舞を披露してくれました。入居者の方々も久しぶりの「獅子舞」に驚きや感動されたようで、短時間ではありますが楽しめた様子でした。

今後も地域運営推進会議等にて施設の状況を公表し地域の方々の意見も取り入れながら、地域に根差した開かれた施設運営を実施していきます。

令和 6 年度には、稼働率についても待機者の獲得を第 1 に考え、近隣の居宅介護支援事業所や病院ソーシャルワーカーとの情報のやりとりを密にするとともに、現在交流のない南区・中区・東区の病院や居宅介護支援事業所へ新たな営業も増やし待機者・利用率の向上を図ります。また、待機者を確保した上で入退居をスムーズに行えるように、事前の入居意思の確認や入居調整の速さも考え実施していきます。

人員確保の面では、紹介会社や派遣職員も活用し人員確保に努めてきました。しかし、

紹介会社から話があっても、採用にまで至らないケースが多い状況でしたが、今年度は1名の職員を採用することができました。また、令和5年11月より、特定技能職員2名を雇用（令和6年2月中旬まで富山荘にて研修）していましたが、2名とも労働条件面等で、より良い条件の職場へ退職しました。そのため、今年度の退職者に関しては、特定技能職員含め8名と多くの退職者を出してしまいました。令和7年度も、職員獲得のため就職フェア等への参加、ハローワーク・紹介会社を通じた求人や新卒職員採用にて学校訪問も含め再度検討していく予定です。

また、他拠点から運転資金を借入れさせていただくことにもなり、厳しい状況が続いています。借入金を少しでも早く返済していけるように、施設全体で収入を上げていきます。

令和7年3月23日には、施設南側の山林にて火災が発生し、法人内2施設へ一時的に避難させていただきました。訓練ではなく実際の避難であり、改善点必要な状態ではありましたが、入居者・職員ともに怪我等もなく避難することができました。建物への損害もありませんでした。この避難に関しては、法人全体でご協力くださり迅速に対応することができました。しかし、実際に避難し反省点もあり、今後のBCPを修正していく必要もありました。

《宮浦荘短期入所事業所》（令和2年1月1日開設）

令和3年4月1日から休止していましたが、人員確保ができ9月1日より営業再開しました。再開当初より、職員も短期入所事業の業務経験がない者も多く、業務内容等の面でも苦労しました。現在は、少しずつ業務にも慣れてきました。しかし、稼働率は現段階まで低迷が続いています。一時は、ロング利用の方も数名おられましたが、現在は減少しています。平均稼働率 17.1%。そのため、各居宅介護支援事業所を中心に営業に回り利用者確保に努めました。施設としても医療依存度が極めて高い方以外のご利用に関しては、積極的に受け入れる体制を取っています。

3月23日に発生した林野火災においては、発生時にご家族へ連絡し、利用継続するかどうか確認し、どのご家族様も利用中止したいとの希望でした。その後、利用者様の安全を第一に考え24日から28日まで営業を中止しました。

《宮浦荘通所介護事業所》（平成31年4月1日開設）

令和6年度は上半期利用率：80.8%（介護・予防併せて）、下半期利用率：89.8%（同）で平均稼働率：85.1%。昨年は、上半期：58.0%、下半期：64.3%でした。

利用者様一人ひとりに対する手厚いサービスを基本として行うことで、ご家族様・居宅事業所から信頼を得ることができたおかげか、継続利用・新規利用紹介をいただくことができ稼働率も年間を通してUPしました。また、更なる稼働率UPのため、各居宅支援事業者やご家族との関係性構築を目指し、サービス内容では「利用者が何を期待しているか」を職員全員で考え様々な事に取り組みました。その結果、稼働率UPに繋げることができ居宅介護支援事業所より多くの新規利用者を紹介していただき、ある居宅か

らは「新規で通所介護の利用を検討する際には宮浦荘を。」とまで言っていただくことができました。

また、職員個々に日々の稼働率に注意を払い、少しでも稼働率 UP のため、職員全員で利用者確保に努力しました。その結果、現在は稼働率も上記の数字にまで UP できました。今後も、現状で満足ではなく、稼働率 UP も含めより良いサービス提供を目指していきます。

職員採用等に関しては、1 名パート介護職が退職しましたが、その後、ハローワークより 1 名のパート介護士兼看護師を採用することができ、人員的には確保できました。

コロナ禍にあつては、ご家族・居宅支援事業所・他サービス事業所と密な連携をとり、感染リスクとなる情報を早期に得るとともに、簡易抗原検査を用いるなどして本人やご家族の不安を和らげながらご利用いただきました。

12 月 23 日には、通所利用者様も参加し火災・水害訓練を実施し万が一の事態に備えました。また、上記でもご説明しましたが 3 月 23 日に発生した林野火災においては、通所サービスの営業日ではなかったため、ご利用者には影響はありませんでした。しかし、ご利用者様、職員の安全を第一に考え 3 月 24 日から 28 日まで営業を休止いたしました。

通所サービスにおける地域との関わりについては、地域の公民館行事等（文化祭等）にも参加しました。カラオケ大会や催し物、文化展の作品を観られたりと皆さん楽しまれた様子でした。令和 7 年度も同様に参加し、カラオケ大会参加や、文化展に手作りの作品を展示させていただくように考えています。

《ささえあいサロン宮ノ浦》

令和 4 年 10 月よりコロナ禍にて休止していたももたろう体操を再開しました。毎週土曜日に実施しており 1 回に 10 名程度の方が参加されています。その際には、通所介護事業において、現在利用の少ない宮浦地区の方への声掛けを行い、利用に繋げようと考えています。また、社会福祉協議会の方や包括支援センターの方々による高齢者向けの出張講座等も定期的に開催しています。

さらに、令和 4 年 12 月から開始した、月 1 回宮浦地区の高齢者を対象とした、買い物送迎支援（1 回に 2～5 名程度利用）も、独りでは買い物に行けない方には好評ですが、その時々で人数にバラつきがあります。まだ、地域内でも知られていない可能性もあるため、地域内の担当者との連携を密にして利用者を増やしていければと考えています。このサービスを通して地域の高齢者の方々に少しでも外出する機会を持っていただき、困り事があれば何でも相談していただける関係を築き地域に根ざした施設を目指すようにしていきます。

○ 特別養護老人ホーム宮浦荘

1. 特養利用者定員 29名 短期入所定員 10名

2. 利用者(入所者)の状況

(1)利用者数及び延利用者日数

月	入 所 部 門		短 期 入 所 部 門	
	利用者数(名)	延利用者日数(日)	利用者数(名)	延利用者日数(日)
4	29	825	0	0
5	28	840	0	0
6	29	816	0	0
7	27	812	0	0
8	27	829	0	0
9	28	835	3	11
10	29	883	6	57
11	29	843	8	75
12	29	899	5	55
1	28	835	6	71
2	28	764	7	92
3	29	879	6	41
計	340	10,060	41	402

*入所部門の利用者数は各月末時点での在籍者数(入院者を含む)。

(2)令和6年度入所者及び退所者(短期入所を除く) (以下、令和7年3月31日現在)

入所者 13名 退所者 11名

(3)利用者の介護度 平均 3.7

(4)利用者の年齢 最高 98歳 最低 81歳 平均 89.5歳

(5)利用者の男女別数 (男) 4名 (女) 25名 計 29名

3. 主要行事等の実施状況

4月	花見ドライブ お花見弁当 クッキング(ちくわ焼き・ホットケーキ)
5月	クッキング(サンドイッチ・わらび餅) 喫茶 客前料理(天ぷら)
6月	誕生日会 昼食作り(炒飯) かき氷 火災時避難訓練
7月	七夕会 おやつ作り(ところてん・クレープ・七夕ゼリー)
8月	夏祭り(かき氷・綿菓子・ベビーカステラ) 誕生日会
9月	敬老会 おやつ作り(おはぎ) 高嶋神社祭り(獅子舞鑑賞)
10月	客前料理(厨房) 焼きそば 外出行事(喫茶店)
11月	さつま芋収穫祭(さつま芋ご飯) 客前料理(おでん) さつま芋白玉ぜんざい
12月	クリスマス会 施設避難訓練参加 誕生日会外出 どらやき作り
1月	初詣ドライブ 鏡開き(白玉ぜんざい)
2月	節分豆まき 誕生日会(プリン・パフェ)
3月	ひなまつり 誕生日会(どら焼き)お花見ドライブ おやつ作り(ぼたもち)

4. 地域・その他との交流の状況

支えあいサロン宮ノ浦でももたろう体操に参加し町内の方と交流をする。

支え合いサロン宮ノ浦にて買い物送迎支援サービスの開始(令和4年12月より、地域の独居高齢者や虚弱高齢者を対象に実施)

宮浦町内の高嶋神社獅子舞鑑賞(宮浦荘へ獅子が来所し玄関先にて舞を披露していただく)

5. 実習生等の受け入れ状況

受け入れなし

6. ボランティアの受け入れ状況

受け入れなし

7. 広報・啓発活動

- ・施設パンフレットの配布
- ・介護サービス情報公表制度による事業内容の公開

8. 職員の配置状況(令和7年3月31日現在)

常勤職員 22名(介護士14、看護師2、介護支援専門員(介護士兼務)1
生活相談員・管理栄養士・機能訓練指導員・事務員各1、施設長1))

非常勤職員 6名(介護士1、宿直3、環境整備2)

9. 委員会等の開催状況

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| (1)メディカル委員会 | } | 3ヵ月ごとに開催 |
| (2)拘束・虐待委員会 | | |
| (3)感染防止委員会 | | |
| (4)事故防止委員会 | | |
| (5)給食委員会 | 毎月開催 | |
| (6)行事委員会 | 2ヵ月ごとに開催 | |
| (7)入所判定委員会 | 年1回開催 | |

10. 職員の研修等の参加状況

○施設内研修(テーマ別研修)の実施状況

- | | | |
|---------------|---|-------|
| (1)身体拘束及び虐待予防 | } | 年2回開催 |
| (2)感染対策及び褥瘡予防 | | |
| (3)事故防止 | | |
- ・事故防止委員会にて事故報告書記入の仕方研修
 - ・身体拘束防止委員会にて、身体拘束の種類や基本的な考え方のための研修
 - ・感染防止委員会にて手洗い研修・感染症発生時の防護服着用についての研修

○外部研修への参加状況

- ・スッキリわかる社会保険制度 事務職員
- ・褥瘡予防研修ポジショニング（外部講師を招き実施）
- ・排泄研修（パット・オシメの種類や当て方等：外部講師を招き実施）
- ・感染予防研修（食中毒について外部講師を招き研修）
- ・災害研修（南海トラフ地震について外部の防災士を招き実施）
- ・接遇研修（新人研修と兼ねて法人内にて外部講師招き実施） 介護士
- ・ハラスメント研修（法人内にて各拠点の担当者が参加。社労士の方を招き講義形式で開催）

○その他 消防・防災（消火、避難）訓練 2回

水害訓練 2回

○宮浦荘 通所介護事業所

1. 利用者の推移

月	介護保険適用通所介護事業(介護予防)				介護保険適用通所介護事業(介護)			
	開所 日数	利用者数 (名)	延利用 日数(回)	1日平均 利用者数(名)	開所 日数	利用者数 (名)	延利用 日数(回)	1日平均 利用者数(名)
4	26	7	55	2.1	26	29	340	13.1
5	27	7	55	2.0	27	33	364	13.5
6	25	7	53	2.1	25	35	371	14.8
7	27	7	57	2.1	27	35	381	14.1
8	27	7	54	2.0	27	35	380	14.1
9	25	8	61	2.4	25	34	366	14.6
10	27	8	65	2.4	27	34	417	15.4
11	26	9	65	2.5	26	35	416	16.0
12	24	9	63	2.6	24	33	375	15.6
1	20	9	53	2.7	20	30	285	14.3
2	24	9	60	2.5	24	29	370	15.4
3	21	9	52	2.5	21	32	340	16.2
計	299	96	693	2.3	299	394	4,405	14.7

令和5年度1年間での新規利用(登録)者数 14名

2. 各種行事の実施状況

月	行事名	行事内容
4	外出行事	お花見ドライブ
	誕生日会・おやつ作り	花見弁当、誕生日会、おやつ作り(いちご大福)
5	誕生日会	誕生日会
	おやつ作り	おやつ作り(抹茶黒豆マフィン) バイキング形式食事会
6	誕生日会	誕生日会、食事会 懐かし遊び
	おやつ作り	おやつ作り(あんみつアイス)
7	七夕	七夕かざりつけ、短冊書き クッキング(ちくわ焼き)
	料理・おやつ作り	七夕食事会(お寿司) 誕生日会、おやつ作り(ところてん)
8	夏祭り	ヨーヨー釣り、射的、輪投げ、かき氷、綿菓子、たこ焼き
	誕生日会	食事会、誕生日会 おやつ作り(クレープ) 客前料理
9	敬老会	カラオケ大会、ゲーム
	誕生日会	食事会、誕生日会
	おやつ作り	おやつ作り(おはぎ)
10	運動会	パン食い競争、玉入れ
	食事行事・おやつ作り	バーベキュー大会、誕生日会、おやつ作り(さつま芋バター焼き)
11	外出行事	紅葉ドライブ
	誕生日会・おやつ作り	忘年会(鍋料理)、誕生日会、おやつ作り(さつま芋のみたらし団子)
12	クリスマス会	ツリー飾りつけ、おやつ作り(チョコロールケーキ)、カラオケ
	工芸・訓練	干支の貼り絵作り 火災・水害避難訓練(利用者参加型)
1	外出行事	初詣ドライブ
	食事行事	食事会、誕生日会、おやつ作り(三色おはぎ)
	正月あそび	福笑い、すごろく、かるた、書初め
2	節分	豆まき、玉入れゲーム

4	食事行事・おやつ作り	客前料理、誕生日会、おやつ作り(チョコレートフォンデュ)
3	ひな祭り	記念写真・お雛様飾り付け
	外出行事	誕生日会・地域公民館へ文化祭の見学
	誕生日会	食事会・おやつ作り(抹茶のどら焼き) お花見ドライブ

*デイサービス職員主催にて毎月、誕生日会を実施。

*クラブ活動も定期的に開催し、書道・クラフト・園芸クラブ等実施。

3. 交流行事の実施状況

受け入れなし

4. 実習生等の受入状況

実習生受け入れなし

5. ボランティアの受け入れ状況

受入れなし

6. 職員の配置状況(令和7年3月31日現在)

常勤職員	6名
非常勤職員・パート	2名
派遣職員	0名

7. 職員の研修等の参加状況

○事業所内研修・訓練

定期避難訓練(日中想定:12月23日実施:利用者参加)

感染症対策訓練(手洗い研修・感染防護服の使用について)

外部講師による研修(食中毒予防について・南海トラフ地震について)

○事業所外研修

(ジョウ・キンダーガーデン関係)

《企業主導型保育事業所ジョウ・キンダーガーデン》(令和3年9月13日開設)

令和6年度は、在籍児童19名＋一時保育上限9名(年齢によって異なる)の定員でしたが、4月から在籍児童19名の100%、一時保育5名で92%の受け入れでスタートできました。今年度も4月より認可保育園や幼稚園に移動がありましたが、保護者から転園を含めた意向を事前に確認しておくことや一時保育をしっかりと受け入れておくことで、定員19名を4月から達成できました。また、念願の病児保育事業も承認をもらい5月より病児保育も開始することができました。

保育については、4月より新しい職員を2名雇用し新体制で新年度をスタートしました。子どもの移動もなく安心して過ごせる保育園、安心して預けられる保育園を目指し保育を行っていました。子ども基本法に基づき、ひとりひとりに合わせた保育を行うよう心掛け、転園希望を減らすことができるように努めました。また、インフルエンザやコロナ等の感染症も看護師が消毒の濃度を変更したり、保護者に呼び掛けたりしたことで拡大することなく利用してもらうことができました。

病児保育については、児童育成協会の協議が長引き、事務室に壁を設置したことで承認があり、5月よりスタートしましたが、なかなか呼び込みができなかったこと、職員の退職があったことにより問い合わせがあるがすぐに対応することができず、10名ほどの利用になってしまいました。実際に問い合わせ等があったことを踏まえ、需要があるように感じているので令和7年度はしっかり受け入れ態勢を整え、在籍児や地域の方への周知を徹底していきたいと考えています。

職員体制については、現場の教育体制が不十分だったこと、コミュニケーション不足だったこと、規程変更の不満等の理由で令和6年度は常勤4名非常勤3名(令和7年3月31日付を含む)の退職となりました。多めに人員を確保していたので、焦らずハローワークからの求人を待っていましたが、なかなか応募がなく、派遣も視野に入れて人員確保を努めてきました。令和7年度は再度辞めない職場づくりや規則の改定等を行い、働きやすい職場づくりを努力していきたいです。

1. 今期の重点目標

- ・通年通して19名定員を確保する
- ・一時保育利用を801名以上にする
- ・経営を安定させる
- ・病児保育の開始
- ・保育の質を高める

2. 事業概況

① 利用児童状況

	在籍児童		一時保育	
	利用人数	延べ人数実績	利用人数	延べ人数実績
4月	19	395	5	69
5月	19	387	5	80
6月	19	378	4	79
7月	19	398	4	85
8月	19	349	4	55
9月	19	337	5	70
10月	19	394	5	88
11月	19	360	5	90
12月	19	363	5	88
1月	19	321	6	88
2月	19	309	6	78
3月	19	376	6	83
合計	228	4,367	105	953

年間累計：在籍者 4,367＋一時保育 953＝5,320 名

3. その他

① 主な行事

4月		10月	秋の遠足（運動会） ハロウィン
5月	子どもの集い 内科検診	11月	内科検診
6月	歯科検診 水遊び	12月	クリスマス会 餅つき
7月	夕涼み会 交通指導（パトカー見学） プール開き	1月	お正月遊び とんど焼き 初詣 不審者訓練（珪砂k津）
8月	不審者訓練	2月	まめまき にこにこ会（発表会）
9月	消防訓練（消防車見学）	3月	ひな祭り会 卒園式

※毎月の火災避難訓練

② 研修報告

主催月	主催者	研修名	対象者
5月	保育・幼児教育課	園外活動時の安全管理研修	福江
5月	岡山県	キャリアアップ	岡本
	岡山県	キャリアアップ	東島
		キャリアアップ	河本・伊藤
6月		安全研修	奥道
6月		普通救命Ⅲ講習	久門

6 月	園内	人権研修	保育士
6 月	岡山市保育協議会	保育士等研修（不適切保育防止）	河本・伊藤・柏木
6 月	大塚製薬株式会社	熱中症対策アンバサダー講座	河本・伊藤・山本・岡本
7 月	法人	ハラスメント研修	河本・伊藤
9 月	保育・幼児教育課	障害児保育研修講座	